

和泉市回答

給食民間委託校に巡回指導を行っていく
変形労働時間制は前提条件が整っていない

十一月二六日、泉北教組は、職場から寄せられた切実な要求を基にした「教育要求書」の交渉を和泉市教育委員会と行いました。主な内容を掲載します。(その2)

備品・消耗品費について

【回答】
国等の財政支援策の動向を注視ながら、引き続き予算確保に努める。

【交渉での追加回答】
コロナウィルス感染防止に関する予算を増額した。

給食の民間委託について

【回答】
教育委員会の決定に基づき、学校給食調理業務の民間委託を進めていく。

【交渉での追加回答】

民間委託校については、これまで年に1回、校長や栄養教諭、保護者を対象にアンケートを実施し検証を行ってきた。検証は不十分ではなかったと

考えている。

来年度からは、チェックリストに基づいて毎日巡回指導を行っていく。チェックリストについては、栄養教諭の意見を聞きながら作成する。巡回指導する人員については検討中である。

青葉はつが野小小学校については、来年度からPTA・学校・調理委託業者・市教委と意見交換会を開く予定である。

令和4年度は、民間委託化校の予定はない。令和5年度以降は、決まっていないうが、直営校の調理員の退職者数を勘案しつつ委託化を進めていく。

教職員の長時間過密労働について

【回答】教職員の働き方改革の推進および時間外

勤務の削減については、今後も研究していく。

【交渉での追加回答】

タイムレコーダーの方が勤務時間を正確に把握できる認識はある。タイムレコーダーを含め勤務時間をより正確に把握できるシステムの構築をめざしている。

和泉市教委として、「1年単位の変形労働時間制」を導入するのは前提条件が整っていないと考えている。

小中一貫教育について

【回答】

小中一貫教育は、様々な現状の課題を解決するための一つの方法だと考えており、教育的意義については、小中一貫教育連絡協議会等を通じて検証してきたところである。

【交渉での追加回答】

南松尾はつが野学園の校舎の良い点、気になる点については、既に当該

教員から意見を徴収し、新校の参考とすることとしている。

槇尾中学校校区は、25人程度の学級で検討している。

特認校については、自然や地域の良さを引き継ぎ、何を付け加えていくかは検討中である。

槇尾中学校校区、富秋中学校校区とも義務教育学校としてスタートする。前期(6年制)後期(3年制)の教育課程は尊重していく。

教員免許更新制度について

【回答】

現状どおりとしたい。

【交渉での追加回答】

市教委として、失職者を出さないように努力する。



教職員の健康診断について

【回答】
現行どおり実施していきたい。

【交渉での追加回答】
新型コロナウイルス感染症拡大状況等を踏まえた上で、長期休業期間中に健康診断を実施したいと考えている。

障害児教育について

「ダブルカウント制の復活」「学級定数の引き下げ」という意見があることを府教委に伝えていく。

子どもの実態に応じて介助員を適切に配置していく。

組合加入申込書

泉北教職員組合 執行委員長 宛

泉北教職員組合に加入します。

学校名

氏名

住所

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！